

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第3回朝霞第一中学校学校運営協議会	
開催日時	令和8年2月5日（木）午前11時00分～午後0時30分	
開催場所	朝霞市立朝霞第一中学校3階多目的室 朝霞市大字膝折2-31	
出席者の職・氏名	学校運営協議会委員 出席者6名 委員長 井上 典子 委員 前田 敏 委員 高橋 正明 委員 塚田 薫 委員 隅田 浩文 委員 唐松 善人 事務局 出席者3名 教頭 横山 三楽 教務 斎藤 雄哉 事務 小野寺 俊哉	
欠席者の職・氏名	学校運営協議会委員 欠席者4名 副委員長 鈴木 泰代 委員 比留間 進一 委員 渡邊 聡 委員 小手森 善弘 事務局 欠席者2名 石井 祐輔 伊藤 眞裕美	
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の授業について意見交換 ・ 学校関係者評価について ・ 協議・熟議・懇談 ・ その他 	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回次第 ・ 朝霞市小中学校 学校評価実施要綱 ・ 学校評価・評価書「様式1」 ・ 生徒・保護者・職員結果 ・ 朝霞一中独自学校評価 ・ 人権擁護委員の学校運営協議会及び地域学校協働活動への参画について ・ 令和7年度朝霞市学校運営協議会委員研修会の開催のお知らせ 	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 学校運営協議委員による確認		
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項	特記事項なし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

(1) 開会の言葉（教頭）

(2) あいさつ（校長）

(3) 協議

- ・ 本日の授業について意見交換→熟議に含める
- ・ 『朝霞市小中学校 学校評価実施要綱』について説明
- ・ 『生徒・保護者・職員結果』および『朝霞一中独自学校評価』について説明
- ・ 協議・熟議・懇談
 - 子どもたちの意欲を引き出そうとする授業を行っている。朝霞一中とつながりの深い、第四小学校も現在、同様な授業を展開しているので、小中統一で行われているのは良いことである。ただし、『活動あって学びなし』にはならないように、『子どもたちが活動していれば良い』というものではない。とかく教育は指導内容が増えて行ってしまうので、何を子どもたちの力として伸ばすか、よく選択していく必要がある。
 - 今後に向けて、具体的にどのように授業が変わってきたか。成長した部分はどこか。何を学ばせたいと考えているか。
→ジグソーなど導入などを工夫して、意義をとらえさせる等、変化が見られてきている。評価や振り返りの大切さを意識している教員も多い。
 - 『ざわめく教室』が最近の教育界のキーワード、トレンドとなっている。児童のアンケートでも『一方的な授業は嫌』という結果が出ている。しかし、ちょうど今採用されている若手の教員たちは、コロナ禍により、自身が、いわゆる『話し合う授業』を経験していない。また、現在中1～中3が一番コロナの影響を受けており黙って授業を受けてきた。ざわめかせることが難しい現状がある。
 - 例えば、みんなが集団生活をできればよいが、そこに入れない生徒たちはどうやって過ごしているか。授業以外の繋がりも希薄になっている中、そういった子たちがどうやって過ごしているか。ステップルームのようなものはあるのか。
→小学校等で独自のステップルームに近いものを設置している学校もあるが、ステップルーム自体の扱い方が非常に難しい。上手に運用しなければ、逆に学校が荒れてしまう原因となってしまった例もある。
 - 個に応じてどうやって学力をつけさせるか。集団になじまない児童、生徒を教室から取り出して、個別で学習するだけが正解なのか。例えば、今ある例としては、教室を仕切りで区分けして、教室内で個のスペースを確保してあげるといったものがある。教室内につくってあげる。特別な教室や相談室へ行かせる（特別な子にする）だけが解決方法ではない。
 - 校長の話にいつも我々も勉強になっている。視覚から入るなど興味を持たせる工夫が素晴らしい。例えば、我々も企業で『ペットボトル』について話させるとして、様々な見方に注目させる。形、色、手触り、温度、重さなど、そういったことを多角的に考えさせることが重要である。校長が取り組んでいるように、教師自らが、どう多角的に捉えるか技を編み出すように仕向けて行けると良い。

- 校長が今はなされたように、教育していけば、経験したように学習しているのではないか。
- 学校の困りごとを、ざっくばらんに本音で話してもらい、学校運営協議会で助けられるとよい。
- なぜ、一中へ区域外通学の申請をしたのか、あらためて注視しておいた方がよい。制服が良い、施設が最新など、ただ人気があるから来た子たちの中に紛れて、深刻な悩みを抱えてきている生徒も潜んでいるはずである。
- 学校評価は、保護者や先生方へはどのようなものをアンケートして調査しているのか。
 - 学校運営協議委員にお配りしたものを基本的に、保護者にも先生方にも使用している。
- 校長の自己評価シートについて特に重点を置いているのはどこか。
 - 特に領域Ⅲについて、一人職が困らないように、法的根拠と共にアドバイスできるように、事務室も含めて一緒に考えるようにしている。
- 事務的なことまで、学校長が視野を広く把握していることに驚いた。

(4) 今後の予定

- ・人権擁護委員の学校運営協議会及び地域学校協働活動への参画について説明
- ・令和7年度朝霞市学校運営協議会委員研修会について説明
- ・令和7年度第4回学校運営協議会は中止とする。
- ・令和8年度第1回学校運営協議会を4月16日とする。